

# DNP

株主通信

## DNP Report vol.79

(証券コード：7912)

特集：「未来のあたりまえを作る。」



## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のことと心よりお慶び申しあげます。また日頃は格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

### さらなる成長に向けて

「未来のあたりまえを作る。」——私たちが掲げるこの言葉には、「未来の社会に貢献し続けていく」というDNPの強い意志が込められています。

社会に貢献していくということは、環境やエネルギー、

教育と次世代育成、医療や健康、食と農、高齢社会における生活の質の向上など、さまざまな分野における社会的課題を解決していくことにほかなりません。そして、その実現に向けて、私たちは変革に取り組んでいます。

いま、私たちが直面している課題の多くは、これまでの方法では解決できませんし、従来のやり方にとらわれていては解決のための道筋も見えてきません。

まず私たち自身が先に立って、主体的に課題解決に取り組んでいくという意識を高めていくことが重要です。



DNPはこれまで、得意先企業のニーズに応えることに努めてきました。しかし、世界規模で経営環境が大きく変わり、生活者の意識も変わるなかでは、企業自身にとって解決すべき課題が見えにくくなっています。そこで私たちが主体となり、積極的に社会の在り方を把握し、課題の整理、分析を行って、ソリューション実現の道筋を作っていくことが重要となってきます。

その際大切なことは、変革の方向が間違っていないか、常に“生活者の視点”と“ソーシャルな視点”に立って確かめていくことです。国内だけでなく海外にも目を配り、適切な方向に舵を切っていく必要があります。

## ✦ 各事業部門での取り組み

創業以来の主要事業である出版印刷や商業印刷などの情報コミュニケーション部門では、グローバルなデジタル化の波のなかで、生活者が扱う情報メディアも大きく変わってきています。この変化に対応し、今年7月には当部門の営業・企画・製造の全国の組織体制を一本化して、より効率的で、より強固な収益基盤となるよう再構築しました。

また、人々の生活に密着した製品・サービスを提供している生活・産業部門では、グローバル展開を強化していくため、東南アジアや北米で製造拠点の拡充などを進めています。各国・各地域のニーズにきめ細かく対応して、そこになくしてはならない“あたりまえ”を提供していきます。

エレクトロニクス部門においては、ここ数年取り組んできたコスト構造改革の成果が現れてきており、さらなる

技術革新と生産の効率化に取り組み、新製品開発などに注力していきます。

## ✦ 「未来のあたりまえ」の具体的な事例について

私たち自身もさらに変革を積み重ね、「未来のあたりまえ」を作り続けていきます。それによって社会の発展に貢献し、株主の皆様をはじめ、あらゆるステークホルダーから信頼していただけるよう力を尽くしてまいります。

この「株主通信Vol.79」では、

### ビッグデータを活かす

- 生活者情報などを安全・安心に運用する  
最新のデータセンターが稼働

### 全世界でさまざまな課題の解決に取り組む

- DNPのグローバル展開

### より健康な明日のために

- ライフサイエンス分野の事業展開

### 住まいの未来を作る

- 健やかで快適な暮らしに貢献

この4つのテーマで私たちの取り組みをご紹介します。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導とお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長

北島義俊

## 特集：「未来のあたりまえを作る。」

私たちDNPはいま、「未来のあたりまえを作る。」ことを目指して、中長期的にわたる事業の拡大に努めています。これらのいくつかの取り組みについて、ご紹介します。

### ❖ビッグデータを活かす — 生活者情報などを安全・安心に運用する最新のデータセンターが稼働

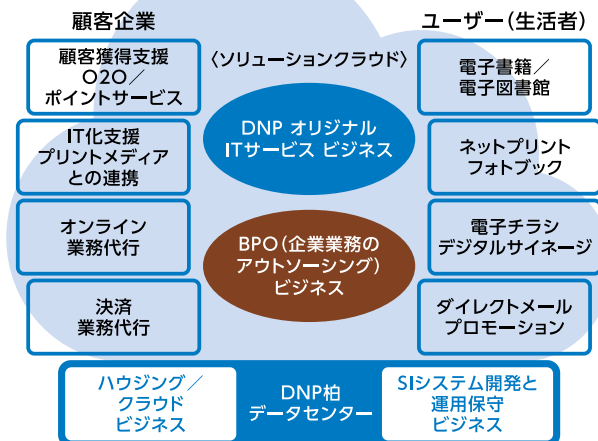
生活者や企業の大切な情報が安全・安心に運用され、心地よいコミュニケーションが交わされる——そんな「あたりまえの未来」を作る。それを実現する事業基盤として、DNP柏データセンターが2013年12月に稼働を開始しました。

このセンターは、高度な情報セキュリティと耐震性・防火性を備えた最新鋭の施設で、連携先の日本ユニシスのクラウド技術を導入しています。DNPが展開する電子書店や電子図書館、フォトブックなどの生活者向けサービス、および企業の顧客向けサービスを支援するための事業基盤として活用していきます。

このサービスの例として、DNPは生活者の“お買いもの”

をさまざまな形でサポートしています。商品検索や購買の履歴などから生活者のライフスタイルをとらえ、最適な情報サービスを提供します。また、スマートフォンなどを活用し、店舗への送客を行うO2O（オーツーオー：Online to Offline）サービス、ICカードやポイントカードの利用管理など、最新鋭のクラウド環境で企業や生活者のニーズに対応していきます。

2014年4月には、クラウド型で利便性を高めた電子図書館サービスをスタートしました。生活者は自分好みの書籍にいち早く触れることができ、図書館はこれまでの業務負担を軽減しながら、電子書籍などの新たなコンテンツを提供することが可能となります。



## 全世界でさまざまな課題の解決に取り組む — DNPのグローバル展開

環境負荷の低減やエネルギーの効率的な利用、衣食住における安全・安心の確保、ユニバーサルデザインへの対応など、社会的な課題の解決がいま、全世界で求められています。DNPは日本国内だけでなく広く世界をターゲットとして捉え、「私たちの強みを活かすこと」をキーワードに、世界共通の課題と、地域ごとに異なる課題にきめ細かく対応しています。DNPは、1964年の香港事務所開設以来、積極的に海外での事業を広げ、現在、16の国と地域で24の営業拠点を、10の国と地域で15の製造拠点を展開しています。

近年は特にASEAN諸国で、経済成長にともなって人々のライフスタイルが大きく変化しています。「快適

な暮らし」へのニーズが拡大し、機能性に優れたDNPの製品やサービスへの期待が高まっています。

これに対して、2013年5月には食品や日用品用のフィルムパッケージの新工場がベトナムで稼働を開始し、12月には写真プリント用の昇華型熱転写記録材を製造する新工場をマレーシアに開設しました。また、東南アジアでのICカード事業を拡大させるため、2014年3月に、ベトナム最大手のカード製造販売会社MK Smart Joint Stock Companyと業務・資本提携を行いました。

今後もDNPの技術・ノウハウを活かし、「未来のあたりまえ」をワールドワイドに作り続けていきます。

DNPの強みを活かして  
課題を解決していくことで、

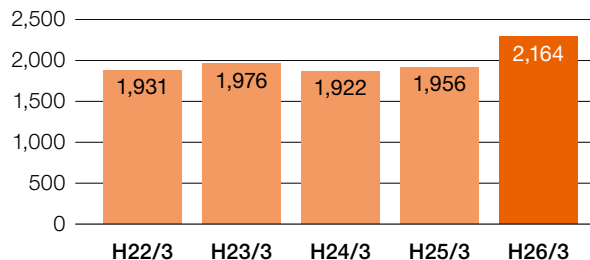
**グローバルに  
ビジネスを展開**



※「DNPenguin (ディーエヌペンギン)」は、DとNとPの3文字で出来ているDNPオリジナルキャラクターです。DNPの製品やサービス、企業活動などを分かりやすく紹介するため、DNPのショールームのほか、新聞やテレビの広告、ウェブサイトや展示会などで活躍中です。DNPが生活者との接点を拡大し、企業ブランドの価値を向上していくことを目指して、2012年5月に誕生しました。

### DNPの海外売上高

(単位: 億円)



## より健康な明日のために — ライフサイエンス分野の事業展開

世界の多くの国で高齢化が進むなか、医療や医薬品に関連する課題の解決と、Quality of Life (生活の質)の向上が求められています。DNPはこのビジネス領域を「ライフサイエンス分野」と位置付け、印刷技術と情報技術の強みを活かしたビジネスの創出に取り組んでいます。

印刷技術が医療の世界でどのように活かされるのか—想像するのは難しいかもしれません。しかし、ライフサイエンス分野への進出は、DNPにとって自然な流れでした。印刷技術を応用し、1985年に「酵素をインク化する技術」を開発し、この技術で尿検査紙、涙や唾液の試験紙、妊娠検査キットなどを製品化しました。

2004年には東京医科歯科大学と共同で、基材上に毛細血管をパターン化することに成功しています。その成果を踏まえ、2008年に、細胞を任意の形状やサイズで培養できる基板「CytoGraph™(サイトグラフ)」を世界で初めて製品化しました。

またDNPは、印刷の基幹技術として、カラーマネジメントや三次元画像処理、データベースシステムなどの情報技術も培ってきました。これらの技術は再生医療の細胞評価や診断支援分野など、幅広い領域に活かされています。

DNPはライフサイエンス分野を、新しい事業の柱として注力していきます。



高齢化する社会での  
健康・医療の課題に対して、

**ライフサイエンス  
事業で貢献**



## 【ライフサイエンス分野事例紹介】 受精卵培養ディッシュを不妊治療クリニック向けに発売

体外受精は、2010年に実施件数が24万件を超え、不妊治療として増加傾向にあります。しかし、高齢になると受診者の妊娠率が低下することもあり、発育の良い受精卵を識別する体外培養技術の向上が望まれています。

DNPは、東京大学、家畜改良センターと共同で2011年に、受精卵を個別に管理する微細なくぼみを設けた培養ディッシュを開発し、家畜の受精卵を対象とした検証を十分に重ね、製品化しました。

DNPは、このノウハウをもとに不妊治療クリニック向けの設計を行い、高い妊娠率を実現し得る培養性能を確保しつつ、滅菌やエンドトキシン(毒性物質)管理等の安全性に関わる検査を実施し、クリニックでの作業性の向上を実現する「WOW (well-of-well) 型培養ディッシュ」を開発しました。

また、みなとみらい夢クリニック(神奈川県横浜市)の協力のもと、従来の体外受精の培養手法である「液滴

培養法」との比較試験を実施し、胚発生や胚盤胞の作出において良好な結果が得られたため、不妊治療クリニックに向けて広く販売することとしました。

これは、複数の受精卵を微細なくぼみで個別管理しながら、グループ培養することが可能な受精卵培養ディッシュであり、不妊治療クリニック向けに2013年10月に発売しました。



(写真上) WOW型培養ディッシュ  
(写真下) くぼみの拡大図

	新製品	液滴培養法	
	受精卵 培養液 オイル	単一胚	複数胚
個別管理	○	○	×
グループ培養	○	×	○
作業性	○	△	△

## 住まいの未来を作る — 健やかで快適な暮らしに貢献

DNPは1951年に、木目柄の継ぎ目が分かりにくい建材のエンドレス印刷に日本で初めて成功して以来、住まいの空間を彩るさまざまな製品を開発してきました。いまでは、住宅やオフィス、医療・介護施設、自動車や鉄道車両などをすべて「住空間」ととらえ、多様なソリューションを提供しています。

この事業を支えるDNP独自のコアテクノロジーが、EB (Electron Beam：電子線) 技術です。床材や壁紙、ドアなどの表面素材に電子線を照射して「傷が付きにくい」「汚れがふき取りやすい」「メンテナンスが容易」などの機能を付与します。日本では、新築市場を上回る勢いで、リフォーム市場が成長すると予測されています。DNPは、EB技術を中心とした“機能価値”と、デザイン

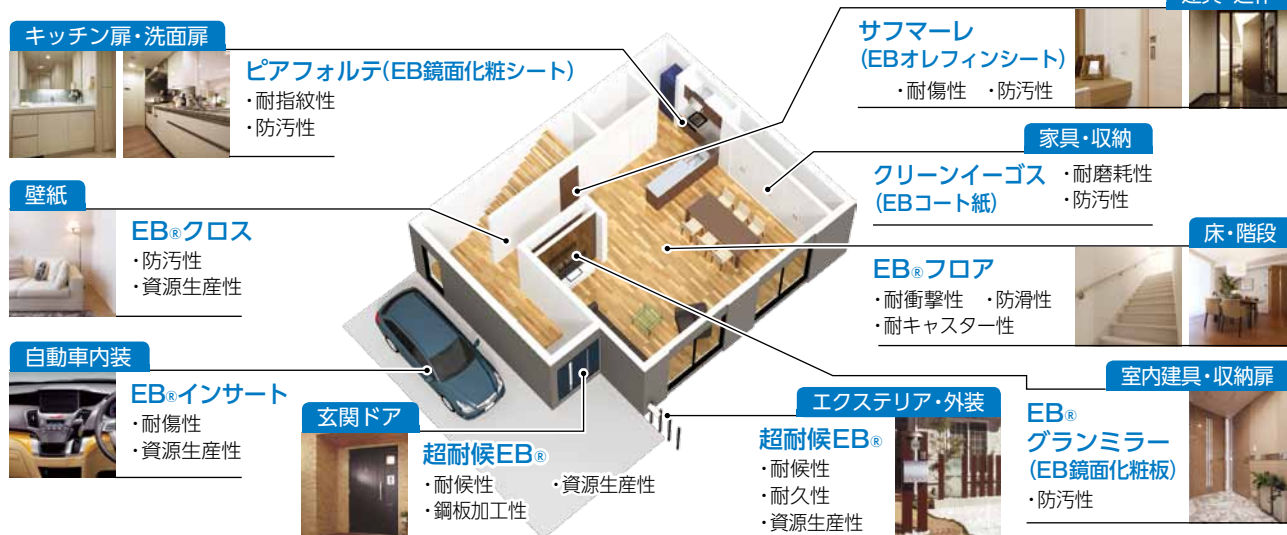
を中心とした“感性価値”によって、生活者が快適に暮らせる未来の住空間を作りあげるために、素材開発から空間設計、コーディネート、施工や工法の開発まで、総合的な課題解決に取り組んでいきます。

生活スタイルの変化に対応し、快適な暮らしの実現に向けて、

「住まい」の  
さまざまな  
課題を解決



## 住空間EBソリューション





# プレゼントのお知らせ

## ディーエヌペンギン 「DNPenguin卓上カレンダー」プレゼント

2015年版「DNPenguin卓上カレンダー」を株主の皆様へプレゼントいたします。DNPenguinは、広告をはじめ、ウェブサイトや展示会などでDNPの製品やサービスをわかりやすく紹介するオリジナルキャラクターです。

プレゼントご希望の方は、同封のハガキに、お名前、電話番号、ご住所、株主番号(同封の「送付票」右下に記載されている9桁の番号)を全てご記入のうえ、ご返送ください。

- ※お送りするカレンダーは、お一人様1部、日本国内に限らせていただきます。
- ※株主様ご本人のお名前でお申込みください。
- ※株主登録のないお名前でお申込みされた場合および記入項目に不備や空欄がある場合は、お届けできない場合がございます。
- ※発送は2014年12月頃を予定しております。

**お申込み締切** 2014年10月31日(金) **当日消印有効**

※締切日にご注意ください。

**お問い合わせ** 「DNPenguin卓上カレンダー」プレゼント事務局  
電話：0120-300-054(フリーダイヤル)

お問い合わせ受付期間：2014年10月1日～2015年1月30日  
(土・日・祝日除く10:00～17:00受付)

※2014年12月27日～2015年1月4日は年末年始休暇のため、お問い合わせ受付はお休みとさせていただきます。

### <お申込み情報の取扱いについて>

ハガキにご記入いただきました情報は、「DNPenguin卓上カレンダー」のお届けに利用するとともに、2015年6月以降の株主総会に関するお電話でのご案内に利用させていただく場合がございます。なお、この目的の実施のためにDNPのグループ会社に業務を委託する以外には、第三者へのお申込み情報の提供は行いません。DNPの「個人情報保護方針」につきましては、DNPウェブサイトをご覧ください。

大日本印刷株式会社 個人情報保護方針URL  
<http://www.dnp.co.jp/about/privacy.html>



デザインは変更になる場合があります。ご了承ください。

### 同封のハガキ

「DNPenguin卓上カレンダー」申込みハガキ			
本ハガキを下部のお申込み情報の取扱いについてにご留意のうえ、申し込みます。			
お名前	姓	名	
電話番号			(お印の欄は必ずお記入ください)
ご住所	〒	〒	〒
株主番号	052022222		

株主番号をご記入ください

送付票  
右下

<b>DNP 大日本印刷株式会社</b>	
052022222	
株主番号	

大日本印刷株式会社 広報室  
個人情報取扱責任者 広報室長

# 第1四半期決算のご報告 (平成26年4月1日から平成26年6月30日)

## 連結業績の概況

(単位:億円)

科目	当第1四半期	前第1四半期
売上高	3,551	3,491
営業利益	117	114
経常利益	146	142
四半期純利益	75	70

## 連結業績の予想 (平成27年3月期通期)

(単位:億円)

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
15,000	520	540	260

1株当たり当期純利益40円38銭

DNPは、事業ビジョン「P&Iソリューション」に基づき、「未来のあたりまえを作る。」ことを目指して、生活者の視点やソーシャル、グローバルな視点での積極的な事業展開に取り組むとともに、全体最適の視点に立って国内外の事業体制の再編を進め、業績確保に努めました。

当第1四半期連結累計期間のDNPの連結売上高は3,551億円(前年同期比1.7%増)、連結営業利益は117億円(前年同期比1.9%増)、連結経常利益は146億円(前年同期比2.5%増)、連結四半期純利益は75億円(前年同期比6.7%増)となりました。

## 部門別の状況

### 印刷事業



書籍・雑誌



食品・日用品パッケージ



フォトマスク

### 清涼飲料事業



清涼飲料

### 情報コミュニケーション部門

売上高	1,736億円
前年同期比	0.6%増
営業利益	27億円
前年同期比	26.4%減

金融機関や電子マネー向けのICカードは増加しましたが、出版物やチラシ・カタログが減少し、前年を下回りました。

### 生活・産業部門

売上高	1,130億円
前年同期比	3.6%増
営業利益	54億円
前年同期比	16.9%増

包装関連、住空間マテリアル関連、写真プリント用のインクリボンなどの産業資材関連がいずれも前年を上回りました。

### エレクトロニクス部門

売上高	576億円
前年同期比	0.5%増
営業利益	61億円
前年同期比	8.2%増

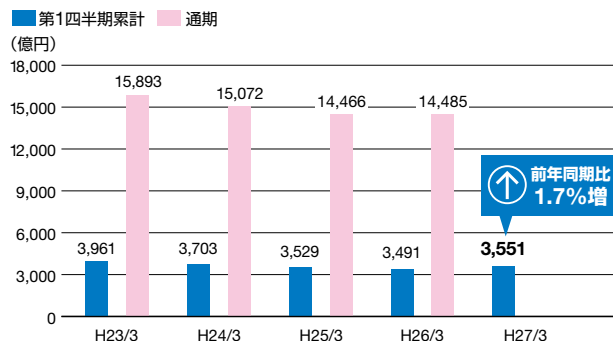
液晶カラーフィルターはスマートフォンやタブレット端末向けが堅調に推移し、電子デバイス関連は前年を上回りました。

### 清涼飲料部門

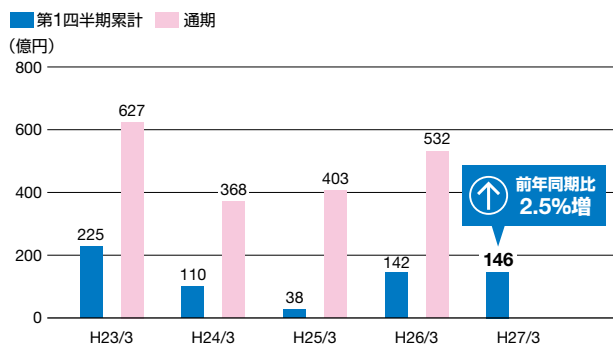
売上高	120億円
前年同期比	3.1%増
営業損失	2億円
前年同期は	4億円の営業損失

「コカ・コーラ」と軽量ペットボトルを使ったミネラルウォーター「い・ろ・は・す」やスポーツ飲料が増加しました。

## 連結売上高



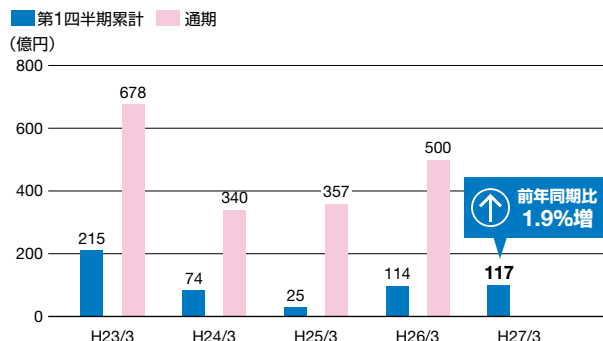
## 連結経常利益



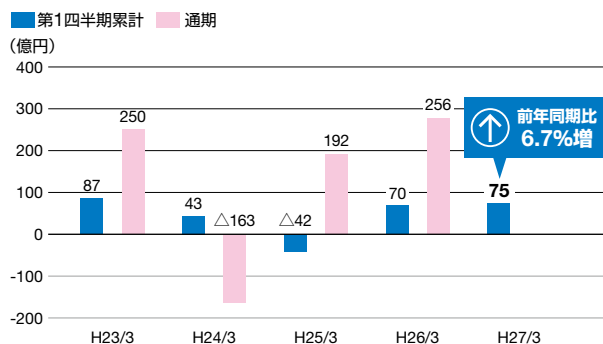
## 連結貸借対照表(要約) (単位:億円)

科目	当第1四半期 連結会計期間末	前連結会計年度末
資産	15,735	15,747
流動資産	7,255	7,330
固定資産	8,480	8,416
負債	5,955	5,983
流動負債	4,151	4,184
固定負債	1,803	1,799
純資産	9,780	9,763

## 連結営業利益



## 連結当期純利益



## 配当予想(1株当たり配当金)

	第2四半期末	期 末	年 間
平成27年3月期 (予想)	16円00銭	16円00銭	32円00銭
平成26年3月期 (実績)	16円00銭	16円00銭	32円00銭

## ■ 身近にあるDNPのエレクトロニクス製品

半世紀以上にわたって多様なエレクトロニクス製品を提供してきたDNP。普及が進むスマートフォンやタブレット端末でも、印刷技術を応用発展させて開発したDNPの製品やシステムが、機能性や操作性の向上に欠かせない役割を担っています。

液晶ディスプレイ  
パネルの構成図

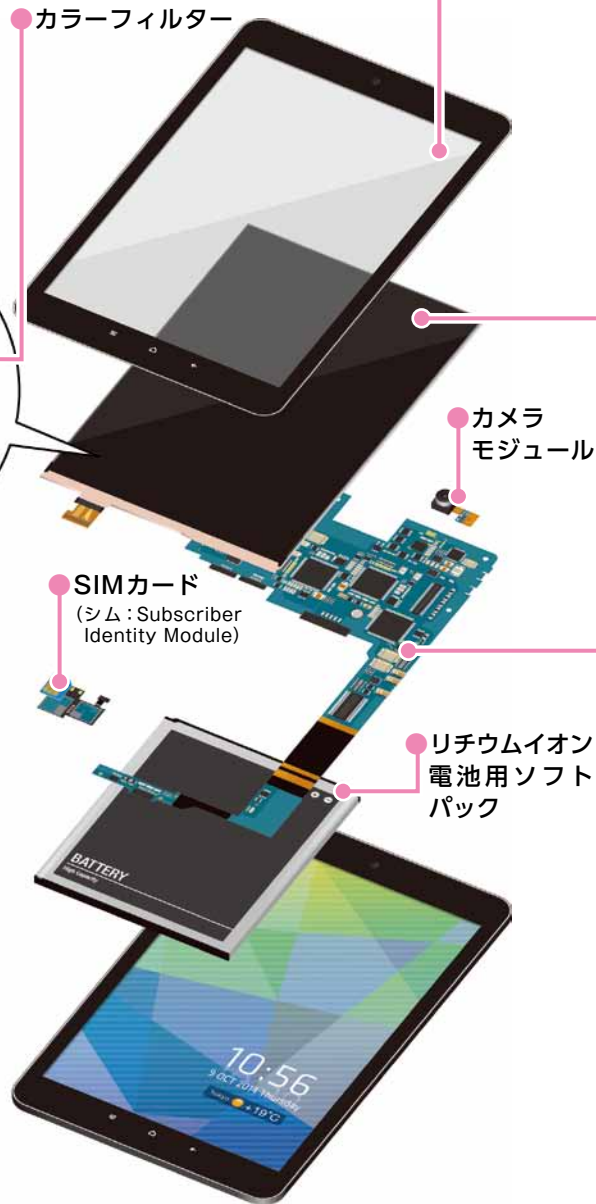


### ● 反射防止フィルムなど各種光学フィルム

液晶ディスプレイの表面やタッチパネルの裏面に貼ることで、照明や外光の反射を抑え、画面を見やすく鮮やかにする反射防止フィルムなどをグローバルに提供しています。DNPは、この製品分野で、世界トップシェアを獲得しています。今後も、いっそう鮮明な画面表示のニーズに応えるため、より反射率の低いフィルムなどを開発していきます。

### ● 液晶ディスプレイ用バックライト部材

タブレット端末のバッテリー保持時間を長くするため、DNPはバックライトからの光を有効に活用できる部材を提供しています。光の利用効率を向上させ、消費電力の低減を実現するとともに、部材点数の削減による軽量化、薄型化を実現させました。



## ●タッチパネル用部材(センサーなど)

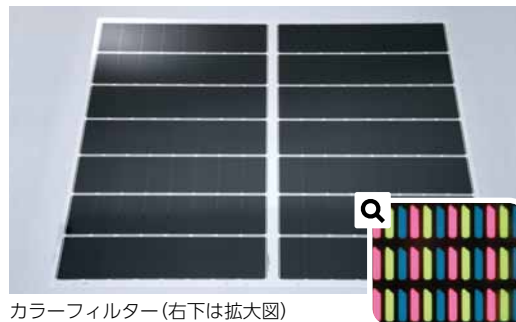
画面に触れる指の動きを感知するタッチパネルセンサーには、端末の厚みや重量の増加を抑えたいというニーズがあります。DNPは、強化ガラスに対応したカバーガラス一体型や、1枚のフィルムの両面を加工するフィルムタイプなどのタッチパネルセンサーの量産を進め、スマートフォンやタブレット端末の薄型化、軽量化に貢献しています。



タッチパネルセンサー

## ●高精細カラーフィルター

スマートフォンやタブレット端末では、テレビやパソコンより小さい画面で、より美しい画像を表示するため、ディスプレイの解像度や輝度の向上が求められています。DNPは、ディスプレイの高精細化や高輝度化、薄型化や軽量化などのニーズに対応したカラーフィルターを生産し、高い評価を得ています。



カラーフィルター(右下は拡大図)

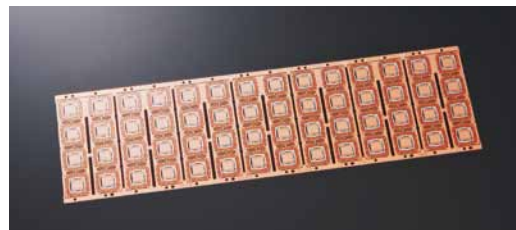
## ●各種電子デバイス

DNPは、印刷で培ったパターニングやエッチングなどの技術を活かして、各種エレクトロニクス機器に不可欠な製品を数多く提供しています。

LSI(大規模集積回路)やDRAM(半導体メモリの一種)などの半導体製品の原版であるフォトマスクでは、最先端の20nm(ナノメートル)台の製品の量産に対応しています。また、小型半導体パッケージ向けリードフレーム、内蔵カメラモジュール向けのプリント配線基板やオートフォーカス用バネ、液晶パネルの光源となるLED用金属基板など、多彩な製品ラインアップを展開しています。



半導体製品用フォトマスク



リードフレーム

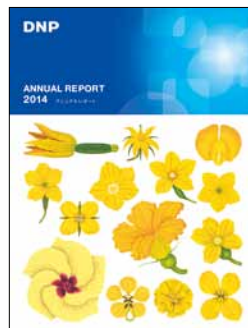
❖ **アニュアルレポート、データブック、CSR報告書発行のお知らせ**

● **アニュアルレポート 2014 (8月発行)**

2014年3月期の事業活動を中心に、事業戦略や財務情報などを掲載しています。

(日本語版・英語版)

- 日本語版 [http://www.dnp.co.jp/ir/index\\_annual.html](http://www.dnp.co.jp/ir/index_annual.html)
- 英語版 <http://www.dnp.co.jp/eng/investors/library.html>



〈表紙〉

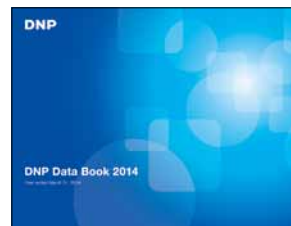


〈特集〉

● **データブック 2014 (8月発行)**

過去10年間の財務データや分析指標などを、表やグラフで掲載しています。

- 日・英共用 [http://www.dnp.co.jp/ir/index\\_data.html](http://www.dnp.co.jp/ir/index_data.html)



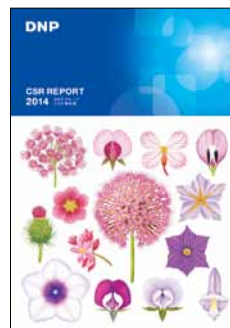
〈表紙〉

● **DNPグループCSR報告書 2014 (6月発行)**

DNPのCSR:「社会から信頼される企業になる」ためのさまざまな取り組みについて、ステークホルダーのご意見とともに、わかりやすく紹介しています。

(日本語版・英語版)

- 日本語版 <http://www.dnp.co.jp/csr/index02.html>
- 英語版 <http://www.dnp.co.jp/eng/csr/report.html>



〈表紙〉



〈特集〉

各レポートは、DNPのウェブサイト(上記URL)にてご覧いただけます。

## 会社概要

商号

大日本印刷株式会社

英文社名

Dai Nippon Printing Co., Ltd.

本社所在地および連絡先

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

電話 03 (3266) 2111 総合案内

URL <http://www.dnp.co.jp/>

創業

明治9年(1876年)10月9日

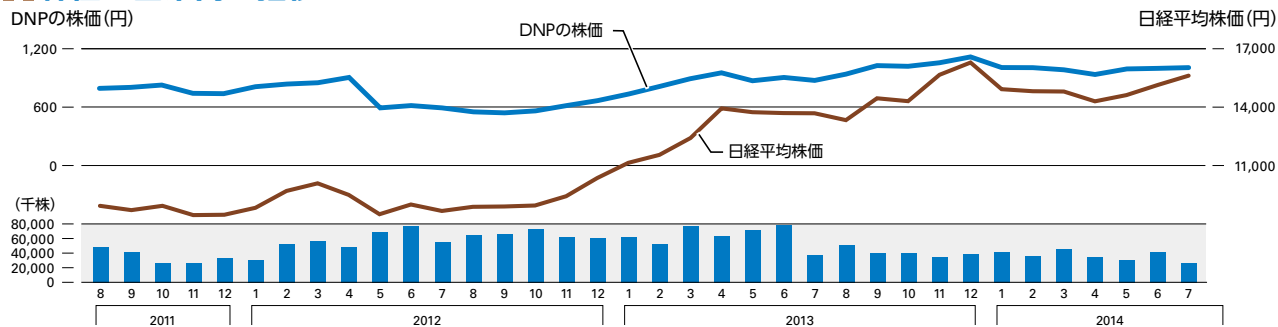
設立年月日

明治27年(1894年)1月19日

資本金

1,144億6,476万円

## 株価 / 出来高の推移



## CONTENTS

株主の皆様へ	2
特集:「未来のあたりまえを作る。」	4
プレゼントのお知らせ	9
第1四半期決算のご報告	10
“フォーカスDNP”シリーズ 【第18回:スマートフォン&タブレット端末】	12
ピックアップニュース	14
会社情報	15



表紙: 特集:「未来のあたりまえを作る。」(イメージ)

※当株主通信は、DNPの事業ビジョンや業績に関する情報の提供を目的としています。記載された意見および予測は、作成時点でのDNPの判断に基づいたもので、これらの情報の完全性を保証するものではありません。

※記載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会開催時期	6月
上記総会における議決権の基準日	3月31日 その他必要のある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定します。
剰余金の配当基準日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告により行います。(当社のウェブサイト <a href="http://www.dnp.co.jp/ir/">http://www.dnp.co.jp/ir/</a> ) ただし、事故その他やむを得ない理由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

## 株式事務に関するご案内

### 1. 住所変更、配当金受取方法の変更等のお問い合わせ先、お手続き窓口

- 一般口座(証券会社の口座)にある株式  
株主様が口座を開設されている証券会社の本支店
- 特別口座(みずほ信託銀行の口座)にある株式  
(お問い合わせ先) みずほ信託銀行 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)  
(お手続き窓口) みずほ信託銀行 本店および全国各支店(トラストラウンジを除く)  
みずほ証券 本店、全国各支店および営業所  
プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)

### 2. 未払配当金のお支払窓口(払渡し期間経過後の配当金領収証によるお受け取り)

- (お支払窓口) みずほ信託銀行 本店および全国各支店(トラストラウンジを除く)  
みずほ銀行 本店および全国各支店
- (取次所) みずほ証券 本店、全国各支店および営業所  
プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)

### ※ 単元未満株式に関するお知らせ

1,000株に満たない株式(単元未満株式)を所有されている株主様が、当社に対しその単元未満株式と合わせて1単元(1,000株)になる数の株式を買増請求できる「単元未満株式の買増制度」を導入しております。また、単元未満株式の買取請求につきましても、お取り扱いしております。

- DNP Report に関するお問い合わせ先

**大日本印刷株式会社** 広報室 〒162-8001 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号  
TEL : 03-3266-2111 (総合案内)



グリーン電力を導入しました(年間115万kWh)。この報告書を印刷する際の電力(1,700kWh)は、自然エネルギーでまかなわれています。



この印刷物は、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構が認証したCUDマネジメントシステムに則り、色覚の個人差を問わず、より多くの方に見やすく配慮しています。